



2014年7月17日

報道関係 各位 ※このリリースは複数の部署にお送りしています



情報コミュニケーション学部が 今年度からベトナム短期学生交流プログラムをスタート 7/20 までベトナム国家大学ハノイ外国語大学の学生が来校

明治大学情報コミュニケーション学部(石川幹人学部長)は、今年度からベトナムとの短期学生交流プログラムを開始しました。同学部はこれまでタイやラオス、アメリカの大学と短期学生交流プログラムを行ってきましたが、ベトナムの大学との交流は今年度が初めてです。

ベトナムは BRICs(ブラジル・ロシア・インド・中国)に次ぐ経済成長が期待される VISTA(ベトナム、インドネシア、南アフリカ、トルコ、アルゼンチン)の雄であると同時に、ASEAN 諸国の中でも日本語能力試験受験者数の多い親日国です。近年、日本への留学生数も増加しており、2013 年度の出身国別留学生数は中国(前年比 5.1%減)・韓国(同 8.1%減)に次ぐ 3 位 6290 人(同 43.8%増)となっています。*

* 独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)調べ

情報コミュニケーション学部では7月8日からベトナム国家大学ハノイ外国語大学(ULIS)東洋言語文化学部日本語学科の学生9人を受け入れており、7月20日までの約2週間、駿河台キャンパス(東京都千代田区)や山中セミナーハウス(山梨県山中湖村)などで、日本-ベトナムの学生同士の交流を図りながら、ベトナム学生の日本語力向上や日本文化への理解を深めるプログラムを実施。18日にはベトナム学生によるスピーチ大会を開催します。

同学部では9月に、ベトナム学生受け入れプログラムに対応する日本人学生の送り出しプログラムを実施予定。同学部生 21 人がベトナムを訪れ、ULIS の学生との交流やハノイにおける日系企業の開発支援の現場見学などを通じて、ベトナムの文化や、日越の高度経済成長期の比較、今後の両国の経済交流などについて学びを深めます。



<取材に関するお問合せ>

明治大学広報課 電話:03-3296-4330